



平成31年1月31日

各 位

会 社 名 大黒屋ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 小川 浩平
(コード番号 6993 東証第二部)
問 合 せ 先 財務経理部長 大村 正文
(TEL. 03-6451-4300)

**第三者割当による新株式による調達資金の資金用途の変更
ならびに第18回新株予約権の消却に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、平成30年9月25日付けで開示いたしました、「Beijing XinBang Daikokuya Trading Corporation, LTD への貸付実行及び第三者割当による新株式の発行及び第18回新株予約権による調達資金の資金用途の変更に関するお知らせ」にて開示いたしました新株式の発行による調達資金の資金用途の一部を下記の通り変更するとともに第18回新株予約権を消却することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

I. 新株式の発行による調達資金の資金用途の変更

1. 資金用途の変更の理由

平成30年9月25日付け開示におきましては、CITICとの合併会社である信黒屋の在庫取得資金につきましては、第三者割当により発行された新株式による調達資金により、信黒屋への貸付を行うことにより対応していく予定でしたが、貸付の実行が未定となっております。その結果、当該資金につきましては、当社及び当社グループの運転資金に充当いたします。

2. 変更の内容

変更前 株式により調達する資金の具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
当社及び当社グループの運転資金	194	平成30年7月 ～11月

中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technolgy(Beijing)Co., Limited への出資金（会社設立費用、人材採用費）	5	平成 30 年 10 月
C I T I C との中国合弁会社の在庫取得資金	50	平成 31 年 9 月
合 計	249	

変更後 株式により調達する資金の具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
当社及び当社グループの運転資金	244	平成 30 年 7 月～ 平成 31 年 2 月
中国における新規設立会社（当社子会社）Daikokuya Duo Jin Technolgy(Beijing)Co., Limited への出資金（会社設立費用、人材採用費）	5	平成 30 年 10 月
合 計	249	

II. 第 18 回新株予約権の消却

1. 第 18 回新株予約権の概要

割当日：平成 30 年 7 月 18 日

新株予約権の総数：350,877 個

発行価額：新株予約権 1 個当たり 79 円

潜在株式数：35,087,700 株

行使価額：1 株当たり 57 円

2. 経緯説明

第 18 回新株予約権につきましては、平成 30 年 12 月 25 日に開示いたしましたように、当社が平成 31 年 1 月 9 日付にて強制取得により取得いたしました。本日付にて消却することといたしました。その結果、第 18 回新株予約権による資金調達ができないこととなりました。

今後の資金調達につきましては検討中にて、決まり次第お知らせいたします。

III. 今後の見通し

業績に与える影響につきましては現在精査中であり、影響等が認められた場合には、影響額が明確になった時点で、その影響額をお知らせいたします。

以上